昭和十六年十二月八日

意決の勝必よめ固に更

日年を生きることである。

な会國上に生を

驅艦の喪失を確認

シントン來館=米國海軍衛は緊逐

ソロモン〇〇島上空を哨戒する〇〇水上

黒海で海賊

原因を明に

今津博士の素晴し

一機を撃墜

**作能開発薬の時間** 

けふの大詔奉戴日に

飛行機十を忽ち血祭

ジャ島に敵邀撃

戦夜灣ラク

敵の反攻愈々

マスノスアイレス六日同盟 メルボルン奈島―西南太平住の福祉 で高令部は日本航空部隊が、五日ま定レンド、島 である部は日本航空部隊が、五日ま定レンド、島 である。

ゥ











十八、十九日の戦闘

熊本市京町

## 1 ただ占領部隊の偉功 ク 畏くも感狀上聞に達す

三次攻撃も県政はる肉瀬版をもつ、九日より二月一日にわたる歌の第

敵歩兵部隊は突撃し來

反復して遂にこれを

軍需鑛物の確保 以上世界四家で四十一局となってある

における同此事業制の損大に伴か

新たに朝鮮運路役を買

撤稿を招集して正式決定する

ンペイク地區占領部隊に對しては

守当に脱田ビルマ方面陸軍最高消滅官から

感状が対

対されたが今回視

ても上間に難した る有力なる物の月飲で買る空陸の後攻を略称、多に英印軍ビルマ朝団企園の初勤を制しアラタンの影響の基礎を作ったド

同方面陸續最高指揮官より感狀を附頭せられしい合衆長くも上間に遊せられたり 以て「新後の我が攻勢作権を害しく有力ならしめ偉大なる功績を報でたるドンペイク地區占領部摩中十六時)本年初旗的麺域境ドンペイク、附近に於て月除に買り、演兵院と儒教なる敬華を職嫌騰裕

もつて曜日わび会戦地に買り間断

兵力を増弱し約四十八の大砲を

地の外職深材から残入して來を
一、実はに、「中国では高いニー
かれに流射剤の分職者はより末後、
なるの議立衛によって敵歌車大、敷傷っけども主張いよく。中部、
含る機性なしる研究を脅乱し、長頭にわたりよう物語側側してそ
で、また問題や屋部は方面からわっの任務を全うしたのである。

てゐる私のやうなものにも、いつ の三分の一以上を田舎の旅で群し あることがわかる。これは一年間

見のやうに考へさせられる間

質回した事際と、悲鳴をあげ過つてはゐないたらうか。

れを見省したことすらないので

都

行機の協同撤職の下にわが石実政

し途には一個中隊の兵員は三十万

ることに決定、これが質施型領域

株式市況(鮨)

てゐたことは半分以上が空想で 田舎に行つて見ると、都智で考し

ンペイク地區占領部隊の興動なる 防禦戦闘はおが軍力

問運動と呼吸、地下資源の予算

好雄氏が就任本月末頃着仟する氏の後任には本社受波瀬長篠原氏の後任には本社受波瀬長篠原氏の後任には本社受波瀬長篠原

THE X

田舍へ

の決意

田

龍 男

朝鐵强力出荷計畫

数とし、不要不急物質は十七年度

昨年より廿一%輸送量增大

層でもつて國民生活の確保は期しかし従來の境率を勘案すればこの 比一一パーセント被となった。し

負換は動類的に増加し、本年度輸 あるが、るらに解内生産力の決

送半ロ十七年度二四〇キロが十七

社法は昭和十五年一月より施

國會(假称)を設置することにあ

改革ご異動住宅營團機構

有限會社は

取引所では取り員の時局認識昂得

五萬圓が最高

放膽なる攻勢作戦

殊勳、伊藤集成部隊の戦闘經過

九時世分から三時間盆がなる砲撃 ののち十三時、まつ二百名位の敵 配備の間隙から深くわ

かくの如く極めて値少な兵力をも

もつて占領してあたが、敵の

岸の状況を知悉する〇中隊の一か

接甲車四州を追へた敵部隊は海 | 時間退却するに望った、以上の如

増加しアキャブが回を表語

ント、貨物一宝パーセントと

社は解散したので本年六月末の現 年中百世八世、十七年中百十四 ると昭和十五年中廿五社、同十六

約課を新設、同時に次の如く

紙芝居統合 独衆鮮力と

一種で機能を含め、地でを出し、機能を送り、間間を開発してるない。

長頭重、逆上を引下で \*\*\*

石炭、酸腫石等は輸送要求を無削一於いて決取機相を属するに至った 航路施設の活用 **萩原朝運副社長談** 

・ 地敷作役邸に歴知総会状況戦弱の ため参山、 馬山、 頻海方面へ出張 中であった妖魔精洲側趾長はこの 手形交換著增 高級

度

指導には元分に意を配つに頂きた

四自集を関へるといふことがあ に出しても恥しくだい立派な社 氏線式の検診をやり傍の箸を一般の景を指揮を対すまた。「中心服力・関係の東方といる。」のもいまで、近くに関し、関係の景で、ならの可の生態となった。 はいました 一般の現立が終めるのよいな 一般の現立が終めるのようなのでは、 はいました 一般の現立を はいいののも日頃の日本のの事が、 はいました 一般の現立を はいいったものも日頃の日本のの事が、 はいました 一般の現立を はいいののも日頃の日本のの事が、 はいました 一般の現立を はいいののも日頃の日本のの事が、 はいました 一般の事が、 なんののも日頃の日本のの事が、 はいました 一般の事が、 はいました 「一般の事が、 はいまた 「一般の事が、 はいました 「」」 はいました 「一般の事が、 はいました 「一般の事が、 はいました 「一般の事が、 はいまた 「」」」 はいました 「一般の事が、 はいまた 指導次第で立派な内地青年

名の生徒を擁して日夜島民の(戦成に)怪気の にひたびるの精趣をつづけてあるが、こ

は公私立百四十二ヶ所の

羽在の旺んなる意気と、明日への燃ゆるが

M来の始めはお茶菓子やウドンを 門河南訓主題

、华盛としては一日も早く無政

ままま テラボール

効果頗る速やかなり

製築株式會社

です古槻の下脇に互みつめて

ればならぬ、從つてすべての歌音 調の指導特神は國家總力線に有 這藤中佐 (webset)

年周で於ても、青銅・の際起は古い、その道の 育であげるために受験時代を乗り超えた、いま 先務者は、年間哲年を忠誠なる皇國臣民として

情であり、特に教練、國語の教育

歌歌が始めたが非常にが思わだ。 様王からも音情が出来すので早期 楽世ピンいて來るやっになった。 この館も私の方から記録氏に出た 郷王からも音情が出来すので早期 楽世ピンいて來るやっになった。 この館も私の方から記録氏に出た

火災海上保險

あり、央戦心勝の

蘇へる土。

先般本紙にも疑惑された

第一、の外用スルフォンアミド剤 傷·膿瘍·痔疾傷。面皰・膿皮疹 自潰して切闘を持たず治癒せし 学の朝出を促進し、或は化膿部 の最高純度テラポールの、化機菌 直接作用せしむる新外用剤。







開着の心器展が明かれる、

類、八日(木)から十三日本

勸皇家遺墨展

八日から三銭神馬県



也 我れ虫も



怪た毒あ

記 公告

御心を反衝し決脱意識を新にする ところに大脳撃城日出席の第一権

いからか、七月の大路が勝日を近くるに親し毎田歌歌月をかけない、東は「観光の心に眺かはは、かかれい歌歌日の主要になって、歌歌歌日の心に眺かは近いかがればいまれて、東は『観光』でがる部派がある。

奉戴日の意義新たにせよ

申合傳達で事足れりとすな 實行の決意音の指導

飽まで魂の奮起だ

資本金六萬五千回の朝鮮 るので今回級力職盟の幹

大阪である。

プエ朝・ 乗り車 ・ ・ 車 ・ ・ 車 ・ 車 ・ ・ 車 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

タ酸性白土 ベンナイト 生業課目

瀬土館定試験無料 中政シマス

李鍾語外科

ベントナイト

ポーダー

(在庫量高)

题 森川 益夫

再び迎へる支那事極六周年目に財

本社客託献金

四文新〇 到於國 及亦

像 件 ・、勞務者の退去超明暫持參のこと 一、保證積立金參萬國を要す 一、保證積立金參萬國を要す 一、保證積立金參萬國を要す

日鐵鑛業价川號業所

一名大至急募る 選川排土 請負人 忠勇 との名大至急募る

個場へ太鼓 刊捺して動む

の一職が嫌へる、原

中講習所等集

第 の微保に概念を押してはあるが、 での自給自足の道じかなく肚を

の。貯蔵庫

種蕗を鐘乳洞へ

スカサル 

■ 臨時救護看護婦生徒募集 ■ 臨時救護看護婦生徒募集 大二年修築以上ノ風力アルモノ以上三十歳以下ニシテ國民風役、「一年以上ノ河県著

温味までは、日本のでは 日本のでは、

**輕朝鮮殖產銀行** 日本勸業證券經京城支店 网络印度图外面 日本 一颗五蟹 日期 一颗五蟹 日期以上 日 步 一颗五蟹 日期以上 日 步 一瞬四 墨 マ・ (八) 「一個選挙)日本職業規行技式・構造工業と、「開催職務)日本職業規行技式・構造工業に、開催職員行政式・日本規策提行表式・開発技式、北通道工程規模で表式。

たが、このほと第一個を整行し

軍教用品

式と木銃

**木京進軍堂** 

七七郎公田を迎くて四

苦くからく同生共死くへの一歩前端は選ましき新

三年布を登み法 どの戦も戦かで戦闘を

軍教に培ふ大和魂

日多塵陵に御参拝あらせらの話】照宮成子内親王殿下

で午前九時週町區

一、應募資格者

一、銓衡方法

車
順
者

の向きには

東職業紹介

に氏す 相營み候間御参列破成下度 御案内に於す 相營み候間御参列破成下度 御案 講堂る七月十日(十)午後一時より 本學 講堂京城帝大前總長 速水泥先生 追悼法會を來 水 先 生 知 友 京城帝 學具

1

三四六夏 信二・五五 干・一五

日本雄辯會購談社

**月九日午前十時 営署ニ於テ錠** 会類外敷點 ニ付照會セラレタシ

日本の唄、南を風靡

ジャワの旅行は自動車で

貸付案内

全府民が戦ふ服装

道憾、なり切れぬ者がまだある

警里六四二永谷常一から薮網ほか

名に販賣、五百四十一圓四十九銭 数十點九子四百七十八陽を仕入れ 館み、十日午後一時より法文優部 故速水博士追悼會

布へ防犯夏の陣 永登浦署愛國班に呼掛く 養正中學生徒

先たらんとする心身を大いに使 島海岸で水泳を行ひ

俳句會の例會に回

勝ち、抜くためには観器も古銭も

は、 はないった。 ないた機能にもたれて、水の面で、からざれば、弦の部中に置きるる ないた機能にもたれて、水の面で、からざれば、弦の部中に置きる。 指の解に來てゐました。私は芽を 光如、私はうしろからから戦を

お前が踊つてくることは別つて とうしてです。どうして、お父

私にかぶせる様に云ひました。でこざいました。父は、古らに、

その人は、誰からう。父の仁錫

し、現下の職局の最しい登展に共 七月七日、六年前のあの日を回顧

記念日に献金部隊

話され、重要國際には七日間々と

被れた着物から東出したこの献金 を特徴したが

、精霊流し、を廢止 決戦下だお互に失費を傾め

今年 4

ならない、特に各戸國旗を

さあ實践な業の

營農調查團

江海泳湾へ輸出

いつた脳型振りでは困ると概然的

警官部をは最田に関連し忠認下が一一箇、将業器甘原を関した

整本永鍾路賣店

李玉・同妃病殿下台殿の光像に浴 御下賜金でポンプ購入

十二日間時所曾を聞くことになっ

に全員笛脚縄、モンベ変で参集、 配書率職式を行ふ 剣道錬成の 録成に一般と選進しつ

府聯の常會

の都金に盛せられた 仁川署の錬成 川野では來る十一百分

期流画は五日午後五時から大和 日迄、毎日午後一時より武徳 交通協會の總會

通導改防止座映會に入り午後七時 仁中の水泳錬成



























会が一番 村久子

をよくせよ

金林耳鼻咽喉科

京日案内

事試験場々長高橋博士ら一行は七

生]日1月7月

文學書が筆頭

の閲覧調べ 府立圖書館 授恩町會の民防空陣は完璧

上名在社二十二章

清水

大なる祭(189 二芳 悌吉(緬)

爾船林式會並









閱維武田藥品株式會近

第八期決算報告第八期決算報告

 $\equiv$ 

米英擊減









低い時で一個、名い時には三・も約三部位の膨脹を來たしてゐる

酸べて見ると、昭和十二年・になってゐる。

即ち総管肝の原政・金融界に於ける一つの大きな特長

**資金不足は、これら金融機関本來、當の治は小作器である。** 

然るに明鮮の小作農は内地と最

中年のは六十五節といる整章の上、簡は、昭和十七年末の時世

はその大部分が農民であつて、

機の自治は 年前の七十國に城べると、東定可 超である。数のこれには文珠資金を製家毎に 年前の七十國に城べると、東定可 超である。数のこれには文珠資金和七年に圏 金額にするとは四国線で内垣の数 したに過ぎず、その他は何度も入 の困縁 した。「帰し年」と、礼を一人皆いの、のパランスの上に於いて出題を示

いふ中合せをして、金融にいの便

保た 成りの開きがある。併し乍ら朝鮮、を要するのであつて、これが胡鮮

に於いて亞越開發が振み、重工器の西金不足を告げる一つの原因で、銀石と東珩といふ特殊の魯毗が

一本館であったのを異工併進の方

Bro 政源開設のために必要とする 現在館内に本店を引する銀行は三 併し貿易内容を見ると朝鮮に於 現在館内に本店を引する銀行は三

**社會式株事商光上**至

力の盤かな人達ではない。朝鮮の かも内地に於ける農家の如く經濟 の範閣内に於いて出て居る。また

が何敬かくの如くれ

開發へ期す迅速圓滑化

七年末には劉炯府金が二億を突破、大正十三、四年頃に随いな像出入 十六国銃であつたのに對し、朝鮮が、その四朝鮮の貿易で輸出運動

て來ても、少しも動かない。質時る必

人は三回四十回髪である。昭和十になつた年は僅かに二年、それも

**参加して郷心に田植を手取ってゐ(金幡究もその心様/でこれが返還)ある明朝としては坦場貴金の角加。一回委員會は水田財務局長の届出田維慈帝に奉仕、墨稜生徒も多数。してゆく政府の方針に顧應すべく「額の近金を更するが、開發達上と」は六日射云の近く競令された、第** 

朝鮮西海攻引所令に基く設立委員を待つてナニ、

近く第一回委員會開催

共に、必要に應じて放出した資金 営金 くなること / 思はれる、一面 施規に入るので金融界の仕がも相

半島經濟の決戰體制

定に非常な苦心をする一つの原因 ことは、総督府に於いて自作の推

朝鮮に必要な、資金は明鮮に於いばめる歴世解的され、近いつらに

配ではない。

特勢性の結果として、朝鮮に於てゐる。ところが朝鮮金融界に於

不足については、外面的に朝鮮になるだらうと思ふ。倫朝鮮の資金

判る。併合以來計七年を經てゐる

ある。それでは公佐青化の問題と

折断のため東上中の田中熊優總裁

七日午前七時五十五分京城驛

れ、さらに第八十二際時職會を追

を深めてゐるやうであるが、なら に過酸網路、線底が東上して内地

朝取設立委員發令

观点的行题数 田中鐵三郎

敵機必滅の決意、爆撃行の荒禁(韓韓國第一〇一線)電影

地上版および空中版を展明し、目

が南部版観北部において大攻勢を

統大本盤は六日正午公報をもつて一然化してゐる

需要は公債消化をはじめ此間、

ぐ決職に今後も長期にわたってついけられることは必至で米がの反。昨年度以来ソロモン難局方面に終局されつ、ある日米の決職に次

る攻魔を加へつゝめる屋田粉兵と垂眼の刺待をかけると同居に織力

地場資金活用に努力

歸城田中鮮銀總裁語る

る気持のいへ歴対風景をみること

なる相貌を呈し來り、今や同方面の飛鳥の暗鬼は直接戦闘を低

行し述大なる犠牲をも考慮せず、ひたすら類別に

推進せよ總力體

レ島に見る決蹴の性格

サイゴン六日同盟1 去る六月廿

蒙疆の對日寄典

半島の協力を期待

同大岐は皆分同地に濫在の豫定一なる運行に関して打合せを遂げ午一 日午前九時總督府と開催、韓鮮師 會議は先づ上補殖を居長の総形 に始まり、強要局長は朝鮮側を代

飲所並に頭山機械の大量要求あり 満洲側からは生擴資材

「一般など、 一般など、 一般など 新、前島鐵鋼新制<br />
南曽<br />
南島鐵鋼新制<br />
南曽<br />
第一名<br />
第一名<br />
市<br />
超<br />
元といる<br />
問<br />
版<br />
を<br />
控<br />
へ<br />
て<br />
ある

を交へたが、六日早朝さ

左の如き『同胞と告ぐるの光』

施設の戦用に関い戦が國際より新、際所に於て協議を急げた

鮮蒙交易打合會開

日本に信頼

大阪府津田町 報國農事樂草園

側に要求した模様であるが、遊休

新發見!室內疆。出來る

会福八十五 園の薬草

桃樹曾をはじめ在楽盛像各國際は六周年を迎へて在バンコツク中部

パンコック六日同盟」支那事

よりの給付金にかくつてあるもの

在泰華僑聲明

題の一地版で継ば五十日の

獨、突破地區を擴大

南部地區赤軍の敗色濃

「ストツクホルム六日同盟」南部

以上、日間の歌画で、歌館の三

敢周中將戰死 並

からビルルコロン地域にほど

づつう 専門薬

なんとなく

元氣がない

消炎·解熱·巓痛します 立くマチフ 

蘇嚴區政治部主任中將周

お願ひ

時節柄 節約

気分爽快の一般の一服

結核征服の根本條件

日婦幹部に配く

心臓へを彫扮してゐるが、最終日の七日午前十時過ぎ田中政務

**郷弄された宋美齢** 

米の空手形を握り悄然歸る

學教諭談別れても狼狽するな年時村中間れても狼狽するな

水泳にはての心掛けが必要

決戦調の

屋祭り

あれから六年、事態から大

型式株

後一國志師青月英治作

ものがあるので、孔明もぢつ

である。

ふの市況 (社団) 强

ヨイコが禱る敵撃滅

ったぞ【鑑賞=その七夕祭】 佛舍利恭迎式

【大郎】海に生

とする半島群ツ

年の海人の憧れ

では道内唯一の

店商一俊川北

標準型の改良住宅

内鮮折衷の理想的設計

躍進 作

北京の七・七興亞記念日

菜の實踐

東部取完後を前頭した、なほこの 日十四邦人は一治一祭。郷なしの

一個大塚深明と終了したが、このは 総金二十百十三個四額を提出が の一部として正日宣風が超光鏡 へ附金した

目前の数の原理を防がせねっなっては変化ところではあっなっては変化ところではあ

は設まったでは、 によからない。全別 ものもなってになが、酸酸酸成反に 







ではこの くなる。 くなる。 くなる。 くなる。



月やく といこうりお困り の方や側心配の人の方や側心配の人の方や側心配の人



先 五改▲北 楣修 4 大股▲流 卷三 7 大股▲流 卷三 7

部分品卸 新東洋ミシンチ販売入阪東洋ミシンチ販売

